

餅つき大会

12/10 (土) 七区



12/11 (日) 白三西牛房



12/3 (土) 一新会



12/25 (日) DIKマンション和光



11/13 (日) 和光市民まつり

3年ぶりに市民まつりの開催となりました。自治連は「ペットボトルダーツ」を行いました。参加者にはゲーム終了後、自治会加入の啓発や自治会優待カードの説明と特殊詐欺の啓発を行いました。また、朝霞地区防犯協会から提供していただいた風船は、子どもたちに大人気でした。



11/26 (土) ゆめあい和光まつり 防犯の啓発ビデオ上映

3年ぶりの開催となりましたが、自治連は特殊詐欺の啓発DVDを放映し、休憩に訪れた方への啓発を行いました。



編集後記



福西 真司 (和光会自治会 会長)

コロナがまた、増えてきています。しかしながら、和光市も今年度は市民祭りを開催し、大勢の人出で賑わいました。やはり、こういうイベントを待っているのだと思います。

私の自治会でも、お祭りを決行しました。来訪者が非常に多く、用意した模擬店の食材は全てお昼前に売れ切れてしまいました。コロナに負けるな、と、声を大にして言いたい。

対策をして皆で楽しみたい。それが大事だと、皆気付いたはず。コロナに負けるなを合言葉に来年度も頑張りましょう。

広報編集委員

- 福西 真司 (委員長 和光会)
- 加山 秀夫 (白三泉)
- 大野 忠 (南上町会)
- 星谷 光市郎 (わだち会)
- 飯田 久夫 (浅久保上町会)

問合せ：和光市自治会連合会事務局 (和光市総合福祉会館内)

☎ 048(463)0104

自治連へのご要望は

▶e-mail:wako.jichiren@wakokyodo.net

閲覧板をご希望の自治会に配布しています。事務局までお問い合わせください。

令和5年
2月1日
32号

和光市自治会連合会 自治連 わこら

和光市イメージキャラクター「わこらっち」

ますます便利に!!

和光市自治会優待カードのデザインが新しくなります!

このカードを見せて
おトク Get!

カードの
写真を見せれば
ご家族でも
使えます!

現在のカードの有効期限は令和5年3月31日までです。新デザインではオモテ面に自治会名と会員氏名を記入後、**スマートフォン**のカメラで撮影して保存し、お店でその画像を提示しても特典が受けられます。ご家族皆さんで、是非自治会優待カードをご利用ください。

協賛店のサービス内容は、自治会優待カードのホームページをご覧ください。

協賛店検索

QRコードを読み取ってください

新年のご挨拶

和光市自治会連合会 会長
木田 亮

令和5年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様、あけましておめでとうございます。新たな希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

3年間新型コロナウイルス感染症に悩まされ、昨年2月からロシアによるウクライナ侵攻により、社会・経済情勢の悪化をもたらし、物価高騰等市民生活への不安を募らしているところであります。

このような状況の中、自治会連合会として予防対策を十分に取、積極的な事業の推進に努めてまいりたいと考えております。主な事業といたしましては、5月の定期総会、市と共催の防災訓練、自治会連合会創立60周年記念式典、自治会優待カードの更新及び利用拡大に向けた取り組み、クリーンオブ和光、視察研修及び各部担当による研修会等に取り組んでまいりたいと考えております。また、市民まつりや市民体育祭等市及び他団体事業への協力にも努めてまいります。

国のデジタル化の推進により、社会の情勢の変化に伴い、職場環境や生活様式の変革が求められており、複雑多様化する中で自治会連合会としても、多くの皆さんのご意見を取入れ、社会に対応できる組織として充実してまいりたいと考えております。

まだまだ予断が許されない社会情勢の中、自治会としての組織の充実に向け、コミュニティ文化や地域共生社会の醸成に努め、安全・安心のまちづくりの構築に向けてより一層努めてまいりたいと考えております。各自治会の発展と会員の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げご挨拶いたします。

和光市長
柴崎 光子

あけましておめでとうございます。自治会の皆様には輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

自治会連合会・加盟自治会の皆様には、日頃から地域づくりや市政と地元の皆様との確かな架け橋としてご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、今年は自治会連合会創立60周年の節目となる時期であり、引き続き自治会への支援を通じて地域コミュニティの活性化を図ってまいります。

さて、昨年は、コロナ禍で規模は縮小しましたが、3年ぶりに市民まつりを開催することができました。少しずつコロナ禍以前の活気が戻ってきていることを感じております。

また、「和光市版スーパーシティ構想」が令和4年1月に埼玉版スーパー・シティプロジェクトに位置づけられました。この構想の柱となる「和光版MaaS」では、市民の皆様がバスやタクシーなどの公共交通を利用して自由に移動できる取り組みを推進しております。未来を見据えた和光市の骨格となる事業であり、市民の皆様とともに考え、事業を推進してまいります。

本年は、「和光市版スーパーシティ構想」などの都市基盤整備とともに、誰もが輝ける地域共生社会の実現に向けて、高齢者の暮らしを支える仕組みの充実、障害者や子育て世代が安心できるまちづくりに取り組んでまいります。

本年も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸・ご健勝を心から祈り申し上げます。

実施日
12/11
(日)

第2回 市内一斉防犯パトロール

12月11日(日)市内各地で一斉に防犯パトロールが実施されました。

柴崎市長と朝霞警察署の警察官、和光市役所危機管理室の職員が南地域センターに集合し、白三西牛房自治会の皆さんと一緒に地域をパトロールしました。

ご協力ありがとうございました。

- ◆参加自治会数 **46**自治会
- ◆参加者 **254**人
- (自治会員**247**人、市・警察等**7**人)



わこうちのいもうと「はつぎちゃん」



実施日
11/20
(日)

第2回 クリーン・オブ・和光

11月20日(日)クリーン・オブ・和光が実施されました。今回も親子での参加が多く見られました。

- ◆参加自治会数 **78**自治会
- ◆参加者 **4,381**人
- ◆回収ごみ量 **6,060**kg
- 可燃ごみ **4,750**kg
- 粗大ごみ **1,310**kg



皆様、ご協力ありがとうございました。



11/14 原田政雄氏がシラコバト賞を受賞されました

令和4年度県民の日記念式典にて原田政雄氏(連合会 元副会長)が第54回シラコバト賞を受賞されました。



10/18 令和4年度埼玉県防犯のまちづくり県民大会では古山秀雄氏(新生自治会顧問)が、地域安全功労者賞を受賞されました。

おめでとうございます。

和光市自治会連合会は、今年創立60周年を迎えます。

地域の明日を考え、自分の手で環境を美しくし、ゴミ減量やリサイクル、環境教育などに力を注ぎ、楽しい笑いに満ちた人の輪を育てていけたらと活動されてきた数多くの先輩方がバトンを繋いで現在に至ります。2020年コロナ禍となり、自治会の季節行事がことごとくストップしましたが、2022年はお祭りや餅つき等が少しずつ復活してきています。地域の皆さんが地域で楽しめるよう「自治会で ふれあい・交流・助け合い」をモットーに活動していきます。



「クリーン・オブ・和光」のはじまり



昨年のワールドカップサッカー・カタール大会で、日本のサポーターがゴミ拾いをしたこと、サムライブルーがドイツ戦の後、控室を綺麗にして折り紙とメッセージを置いて立ち去ったことがFIFAをはじめ世界中から賞賛されたことは記憶に新しいですね。このような行動がとれるのは、日本の学校教育で清掃活動が当たり前に行われているからでしょう。また、外食時テーブルの上を綺麗にして立ち去ろうとする行動を無意識にとる人が多いのも、学校給食の配膳や後片付けの経験からだと思えます。この様に義務教育9年で身についた日本人の当たり前が、海外の方の目には素晴らしいと映るようです。

さて、自治連と和光市はタッグを組み、年に3回、地域を綺麗にするクリーン・オブ・和光(ごみゼロ運動)を続けています。世界から見たら、とても珍しいことなのではないでしょうか。現在1年で約21トンのゴミが回収されております。

小さなお子さんから高齢者までと一緒に地域の公道のお掃除をするこの事業は、和光の子どもたちの目にどう映っているのでしょうか。

今回、和光市民新聞の過去の記事を見返し、このクリーン・オブ・和光のはじまりを調べてみました。

「ごみゼロ運動(クリーン・オブ・和光の前身)の第1回目は昭和59年の6月3日。ごみゼロ運動は5月30日をもじったもの。1都9県がこの日に近い日曜日を運動に設定。和光市では行政主導型から住民主体の運動にしたいと関係8団体に呼びかけ、昭和59年「和光市コミュニティづくり市民運動推進協議会」が発足。実践は自治会ごとになるので、自治連会長が実行委員長になり、実施した。2回目となる11月の運動結果を見ると、参加団体は64に及び、子どもを合わせ3,620人がゴミ集めに協力した。単位自治会は50が参加。それぞれ地域内や、国道・県道の主要道路のゴミを収集。全体の量は約23トン。市役所のライトバン、清掃車26台、建設業の車9台がゴミを収集した。

(和光市民新聞昭和60年5月1日号から抜粋)

事業の見直しがあり平成11年度からは名前をクリーン・オブ・和光とし、現在の市と自治会連合会で行う形へと変わったようです。



最優秀賞「みんな揃ってごみゼロ運動」全子 一子
広報わこう平成5年11.1号に和光市コミュニティづくり市民運動推進協議会の主催した第2回写真コンテストで最優秀賞に選ばれた写真です。

10/30
(日)

和光会まつり

10月30日(日)和光会祭りが開催されました。会場の入り口では役員の方が検温や消毒を呼びかけるといったコロナ対策をした上での開催でした。住民の皆さんはフリーマーケットや模擬店を楽しんでいらっしゃいました。

